2027年度　一般財団法人太田綜合病院附属太田西ノ内病院　（病床数　945）【1年次】

受入人数	【1年次】 1名

常勤・非常勤	研修手当						勤務時間	休暇				当直/月	宿舎	社会保険・労働保険等
	基本手当		賞与		時間外	休日		有給		夏季	年末年始			
	1年次	2年次	1年次	2年次				1年次	2年次					
常勤	530,500		無		基本手当に含む（時間外手当が定額を超えた場合は別途支給）	無	平日8:30～17:00 土曜日8:30～12:30	15		有	有	3～4回	有（借上住宅）	医師賠償保険（病院として加入、個別加入は任意） 全国健康保険協会・厚生年金・雇用保険・労災加入

○ 研修診療科（必修科目）について

科目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
内科	内科は、太田西ノ内病院の内科系7診療科（内科・糖尿病内科・腎臓内科・ 呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・リウマチ科）太田熱海病院の脳神経内科から選択する2診療科 を12週ずつ又は3診療科を8週ずつ研修します。 内科：内科病棟の専属医として、指導医の下に症例を担当し診断、治療に当たる。週1回のカンファレンスでは症例の検討をはじめ、抄読会のcase studyを担当する。また、ローテートの最後に担当症例を一例、学会形式でまとめ症例の提示ができるようにする。当科は臓器別診療にとらわれず、患者さんの訴えから、疾患を鑑別し、どう診断し、どう治療を行うか、総合的なものの考え方、理論的な思考を修得し、さらに、患者さんへの接し方、スタッフとの協調、医師としてあるべき態度も含め研修していただきたい。 指導医数　内科　3名、糖尿病内科　4名、腎臓内科　3名、呼吸器内科　1名、消化器内科　3名、循環器内科　4名、リウマチ科　2名、心療内科　1名
救急科	各種救急疾患に対応できる判断能力、簡単な救急処置法により、各種疾患の鑑別診断をする能力の修得。集中治療棟（ICU,CCU）における重症患者の管理法の修得。 救急蘇生法の修得。各種ショックの診断と治療法の修得。多発外傷の初期診断と治療法の習得。各種毒物中毒の治療法修得。 指導医数　8名
外科	研修期間中に、一般外科、消化器外科の診断、治療に必要な基礎知識、基礎的手術技能の修得につとめる。さらに、患者の病態生理を把握し、実際に診断、治療に携わり、チームワークとしての外科医療を理解するとともに、医師としての人格を錬磨することにつとめる。指導医数　10名
小児科	指導医とともに、主に小児科病棟において、診察、治療を行う中で、小児の採血、採尿、輸液路確保、腰椎穿刺などを経験し、子どものみかた、発達・発育、各種疾患の基礎、保護者との接し方を学ぶ。総回診、小児科各種カンファランス・抄読会に参加する。また小児の一般外来・専門外来や救急医療の現場を経験したり、脳波検査、各種超音波検査の実施法、判読法を会得したり、新生児医療の現場を見学する。指導医　4名
産婦人科	産科：妊娠、分娩の神秘を科学する心を学ぶ。産科救急の異常性に対する理解を深める。新生児における胎外生存への適応過程を理解する。産科医療の限界を理解する。命をみつめる心を養う。 婦人科：手術医としての婦人科医のあり方を学ぶ。不妊治療における生殖医学の展望とその限界について学ぶ。女性の偉大さを医学的に理解する。死をみつめる心を養う。指導医　3名
精神科	2年目に慶応義塾大学病院で研修する。
一般外来	研修医が診察医として指導医からの指導をうけ、適切な臨床推論プロセスを経て臨床問題を解決する。コンサルテーションや医療連携についても研修する。「経験すべき症候」および「経験すべき疾病・病態」を広く経験する。

必修科目の研修ができない場合、選択可能な診療科
内科、糖尿病内科、腎臓内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、心療内科、リウマチ科、小児科、外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、形成外科、泌尿器科、整形外科、耳鼻咽喉科、眼科、産婦人科、放射線科、麻酔科、病理診断科

○研修アピール
臨床研修の目標は、医師としての責任感と使命感とを養い、人格を涵養し、将来の専門性にかかわらず、医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的診療能力（態度、技能、知識）を身につけることです。
当院の特徴は多数の医師が、出身大学や診療科の壁を取り払って、患者中心の医療を行っていることです。診療科は救命救急センターを含めた多数の専門分野から成り、充実した機器と設備を駆使して高度の先進医療を提供しています。第一線医療にチャレンジしたい研修医の方々に最適の研修病院です。

○研修医からのメッセージ
当院は東北第2の都市である福島県郡山市に位置する基幹病院です。40超の診療科・センターから成り，病床数・症例数は全国でもトップクラスです。恵まれたハードウェアを活用し，各診療科が連携して地域の救命救急および急性期診療を担っています。
　西ノ内研修の最大の強みは実症例をもとに各分野のトップエキスパートから鍛錬を受け，一線級の技能を修得できることです。当院にはあらゆる診療科・設備が備わっているため，患者さんに対して多くの側面からアプローチすることができます。研修医も一人の医療者として上級医・メディカルスタッフと協働し，主体的に患者さんや地域社会と関わることができるため，常にやりがいを感じながら研修に打ち込むことができます。
　私にとって，志望している診療科に限らず，学びたくなったことを学びたいときに学べる環境は大きな魅力でした。空き時間や興味に応じて，ローテートしていない診療科にお邪魔し，診療や手技の機会をいただくこともあります。臨床研修で求められる医師としての総合力の向上に繋がる環境が広がっているのです。
　1・2年目にとって同僚と支え合って乗り越えた先には確かな成長を感じる喜びがあります。刺激的な毎日の積み重ねは，間違いなく一生モノの2年間となるはずです。西ノ内病院の広大なフィールドに医療者としての第一歩を踏み出し，ともに挑戦してくれる同志を心からお待ちしています。

以下、慶應義塾大学病院から研修医への注意事項
・外科研修はその他の外科系の診療科への振り替えは認めません。
・必修科目がある病院では、必ず必修科目を研修してください。振り替えは認めません。

研修実施責任者　鈴木英二

※問い合わせ先
担当部署・担当者名：臨床研修室　満山明子　今泉雄太
住所：福島県郡山市西ノ内２－５－２０
TEL：０２４-９２５－８６４３
E-mail：kensyui@ohta-hp.or.jp

2027年度　一般財団法人太田綜合病院附属太田西ノ内病院　（病床数　945）【2年次】

受入人数	【2年次】１名

常勤・非常勤	研修手当						勤務時間	休暇				当直／月	宿舎	社会保険・労働保険等
	基本手当		賞与		時間外	休日		有給		夏季	年末年始			
	1年次	2年次	1年次	2年次				1年次	2年次					
常勤		585,000		無	基本手当に含む（時間外手当が定額を超えた場合は別途支給）	無	平日8:30～17:00 土曜日8:30～12:30		16	有	有	3～4回	有（借上住宅）	医師賠償保険（病院として加入、個別加入は任意） 全国健康保険協会・厚生年金・雇用保険・労災加入

○ 研修診療科（必修科目）について

科目	研修内容（手技・症例数・指導医数等）
地域研修（在宅を含む）	協力施設において、地域医療のあり方を包括的に研修する。 患者が営む日常生活や居住する地域の特性に即した医療(在宅医療を含む)について理解し実践する。 また、外来研修および在宅医療を行い、医療・介護・保健・福祉に係わる種々の施設や組織との連携を含む地域包括ケアの実際について学ぶ。研修病院　医療法人慈繁会付属 土屋病院・トータルヘルスクリニック
一般外来	研修医が診察医として指導医からの指導をうけ、適切な臨床推論プロセスを経て臨床問題を解決する。コンサルテーションや医療連携についても研修する。「経験すべき症候」および「経験すべき疾病・病態」を広く経験する。
外科	研修期間中に、一般外科、消化器外科の診断、治療に必要な基礎知識、基礎的手術技能の修得につとめる。さらに、患者の病態生理を把握し、実際に診断、治療に携わり、チームワークとしての外科医療を理解するとともに、医師としての人格を錬磨することにつとめる。指導医数　10名
小児科	指導医とともに、主に小児科病棟において、診察、治療を行う中で、小児の採血、採尿、輸液路確保、腰椎穿刺などを経験し、子どものみかた、発達・発育、各種疾患の基礎、保護者との接し方を学ぶ。総回診、小児科各種カンファランス・抄読会に参加する。また小児の一般外来・専門外来や救急医療の現場を経験したり、脳波検査、各種超音波検査の実施法、判読法を会得したり、新生児医療の現場を見学する。指導医　4名
産婦人科	産科：妊娠、分娩の神秘を科学する心を学ぶ。産科救急の異常性に対する理解を深める。新生児における胎外生存への適応過程を理解する。産科医療の限界を理解する。命をみつめる心を養う。 婦人科：手術医としての婦人科医のあり方を学ぶ。不妊治療における生殖医学の展望とその限界について学ぶ。女性の偉大さを医学的に理解する。死をみつめる心を養う。指導医　3名
精神科	研修不可
麻酔科	術前回診により、患者の全身状態を把握し、各種検査成績を検討し、患者のリスク状態を検討したうえで、それぞれの患者に適した麻酔法を選択できるようにする。 救急医療に必要な気道の確保、人工呼吸、血管の確保、心肺蘇生法、モニターの選択法と実施法を学ぶ。成人の全身麻酔、重篤でない緊急麻酔法を修得する。指導医　8名

○ 研修のアピール

研修医からのメッセージ
当院は東北第2の都市である福島県郡山市に位置する基幹病院です。40超の診療科・センターから成り，病床数・症例数は全国でもトップクラスです。恵まれたハードウェアを活用し，各診療科が連携して地域の救命救急および急性期診療を担っています。
　西ノ内研修の最大の強みは実症例をもとに各分野のトップエキスパートから鍛錬を受け，一線級の技能を修得できることです。当院にはあらゆる診療科・設備が備わっているため，患者さんに対して多くの側面からアプローチすることができます。研修医も一人の医療者として上級医・メディカルスタッフと協働し，主体的に患者さんや地域社会と関わることができるため，常にやりがいを感じながら研修に打ち込むことができます。
　私にとって，志望している診療科に限らず，学びたくなったことを学びたいときに学べる環境は大きな魅力でした。空き時間や興味に応じて，ローテートしていない診療科にお邪魔し，診療や手技の機会をいただくこともあります。臨床研修で求められる医師としての総合力の向上に繋がる環境が広がっているのです。
　1・2年目にとって同僚と支え合って乗り越えた先には確かな成長を感じる喜びがあります。刺激的な毎日の積み重ねは，間違いなく一生モノの2年間となるはずです。西ノ内病院の広大なフィールドに医療者としての第一歩を踏み出し，ともに挑戦してくれる同志を心からお待ちしています。

○ 選択科目について（選択できる診療科）

内科	糖尿病内科	腎臓内科	呼吸器内科	消化器内科
循環器内科	心療内科	リウマチ科	小児科	外科
形成外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	小児外科
眼科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	耳鼻咽喉科
地域保健	産婦人科	放射線科	麻酔科	病理診断科
備考				

※地域研修の施設は、記載されている協力型病院の施設に限られます。

研修実施責任者　　鈴木英二

※問い合わせ先
担当部署・担当者名：臨床研修室　満山明子　今泉雄太

住所：福島県郡山市西ノ内２−５−２０

TEL：０２４−９２５−８６４３

E-mail：kensyui@ohta-hp.or.jp